

令和6年8月臨時舞鶴市教育委員会会議録

開会日時 令和6年8月9日(金) 午後2時～午後2時56分

場 所 市役所別館 413会議室

出席委員 廣瀬教育長 内藤委員 小川委員 稗田委員 西谷委員

欠席委員 四方委員

事務局職員

秋原指導理事	瀬野教育総務課長
志賀教育振興部長	川北教育総務課総務係長
日下部学校教育課長	
小野学校教育課主査	
森こどもまんなか室長兼乳幼児教育推進課長	
飯田乳幼児教育センター所長	
松本乳幼児教育推進課丹生健入所係長	

傍聴者 5名

1 開会

教育長 開会を宣告

2 議事

(教育長)

令和6年8月9日提出の、第11号議案「令和7年度以降に使用する市立中学校用教科用図書の採択について」、事務局から説明をお願いする。

(日下部学校教育課長)

令和7年度以降に、舞鶴市立中学校において使用する教科用図書を別紙のとおり採択するにあたり、舞鶴市教育委員会基本規則第9条第1項第15号の規定により委員会の議決を求めるもの。

(教育長)

教科書採択の法的根拠、共同採択、経過について説明。

委員には中丹地区教科書採択委員として会議に出席し、令和 7 年度以降使用する教科書について検討・協議を行っていただいた。本日は舞鶴市教育委員会として、令和 7 年度以降に使用する市立中学校の教科用図書の採択をお願いする。

(教育長)

「国語」について、意見を求める。

(稗田委員)

現在も使用している「光村図書」が良い。身につけたい力が明確である。読むことで身につけた力を活かして書いたり、それを基にして生徒が話し合ったり、関連付けながら系統的・螺旋的に力をつけていこうという工夫が見られる。どの学年でも目次「学習の見通しをもとう」において、1年間どのような学習でどのような力を身につけていくのかを生徒自身が見通して主体的に学んでいくことができるようになってきている。さらに、それぞれの単元と他教科やSDGs 17 の目標との関連が示されている。言葉について学ぶのが国語科であるが、それを他教科や総合等で活用していったこそ、教科横断的に言葉の力が身につく、さらに探求的な学びにつながる。生徒はもちろん、指導者にとっても指導の工夫ができる。また、各学年ともに1年間で身に付けた力を確認することができる「国語の力試し」では、生徒自身が採点できるCBT形式の出題問題がある。全国学力・学習状況調査導入予定の問題形式であり、新しい試みとして評価したい。また生徒自身が、資質・能力が身についたかを確認して、自らの学習の調整に活かすことができる。

(西谷委員)

「光村図書」を推薦する。古典資料が両観音開き構造で大きく掲載されており、生徒の興味関心や理解を深めるものとなっている。また、3年生の資料では、古典や近代文学の沿革や発展、「文語の活用」で、高等学校で学習する教材や文法を取り上げることで、高校の学習へつながる点が良い。

(教育長)

「書写」について、意見を求める。

(稗田委員)

国語についても書写についても、「文字文化」ということで、言葉の力を高めていく学びであると考え、国語と連動させながら指導できるものがよい。「光村図書」を推薦する。国語の教科書と連動して教材が配置されており、国語と一体的に扱うことで、学習活動に生徒自ら必然性が生まれてくるのではないかと考える。国語で学んだ魅力的な言葉や文章を書写で美しく書くことや、国語で学んだ新聞づくりなどの表現方法を文字の大きさや配列など書写の視点から紙面の構成について学ぶなどのページがあった。このように一体的に取り扱うことで、どうしてこの学びをするのかという必然性が子どもたちに伝わり、主体的な学びになるのではないかと考える。

(西谷委員)

国語と連動して学習できる「光村図書」が良い。「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」と学習の流れがとても分かりやすく、何をどう学ぶかが明確である。また、目標を振り返りながらチェックもできる。「手書きのよさ」を考えさせる課題では、これから減っていくのであろう手書きの練習が豊富に盛り込まれている。手紙やはがき、案内状や通信文、入学願書等、これからの生活に必要な要素を取り込んだ内容になっている。

(教育長)

「社会（地理）」について、意見を求める。

(内藤委員)

「東京書籍」が良いと考える。1冊のテキスト中に、導入・まとめ・リンクが同じようなパターンであることで、教師が教えやすく生徒も学習しやすいのではないかと感じた。また、單元ごとに学習を振り返ることができるまとめのページがあり、まとめの活動に思考を整理するための「思考ツール」が活用できる。

(西谷委員)

ページの下部に、学習課題や内容を整理するポイントや振り返って説明するための発問「チェック」、「トライ」が設定されている。子どもたちにとって学習しやすいのではないかと考える。さらに、デジタルコンテンツの説明があったり、イラスト写真の説明が豊富であったり、写真などの資料の周辺のスペースが広くメモしやすく、学習しやすい作りになっていると感じる。

(教育長)

「社会（歴史）」について、意見を求める。

(内藤委員)

課題をみつけ、考え、知識を深め、まとめをする活動がやりやすいという視点から「東京書籍」を選んだ。導入資料、学習課題、本文がチェックアンドトライの流れで、生徒も1時間の流れを把握しながら授業に臨むことができる。バランスよく誰にとっても学習がしやすい。また、課題解決を見つけるコーナーがあり、探求の視点がはっきりしている。

(西谷委員)

「東京書籍」がよいと思う。他分野、他教科との関連を、マークで示していて関連性を意識して学ぶことができる。導入部分からチェックアンドトライまで、学習する流れのバランスが取れている。また、まとめの活動に思考を整理するための「思考ツール」があるのも魅力的である。動画の視聴ができることで、より学びを深められ、生徒たちも学びやすいのではないかと考える。

(教育長)

「社会（公民）」について、意見を求める。

(内藤委員)

地理と歴史と関連性があった方が良く、「東京書籍」が良いと考える。公民は、現代的課題を学習する教科だが、探求する資料が大変豊富である。生徒自身が身近な問題として捉えることができるコーナーがある。また、必要な技能の定着で、より学習を深めることができるコーナーがある。様々な工夫がされている。

(西谷委員)

「東京書籍」が良いと考える。小学校の社会科や他分野・他教科との関連がマークで示してあり見やすい。学習内容に関するウェブページにリンクする二次元コードが、学習課題やタイトルの隣の定位置に記載されており学習しやすいと感じる。また、身近で具体的な場面から憲法・政治・経済をとらえ、主権者意識・消費者意識の醸成を促す「18歳へのステップ」というコーナーが設けられており、18歳の成人を迎える前に、自分事として考えられる工夫がある。

(教育長)

「社会(地図)」について、意見を求める。

(内藤委員)

「帝国書院」の地図を推薦する。地図帳の基本的な見方、使い方がわかりやすく解説されている。図書や地名を探す時に、見やすく、見つけやすい。また、巻末資料が大変充実している。

(西谷委員)

「帝国書院」が良いと考える。自然災害・防災への意識が高められる資料や、SDGsについて考察できる資料が充実している。統計も詳しい。二次元コードが記載されており、生徒が主体的に取り組める動画や資料活用能力が高められるコンテンツが多数収録されており学びやすいと感じる。また、地図は、地理や歴史、公民など頻繁に使うと思うが、耐久性のある表紙素材を採用しているところも良い。

(教育長)

「数学」について、意見を求める。

(小川委員)

「数研出版」が良いと考える。単元の冒頭に小学校の既習内容が扱われており、関連付けながら学習できるよう工夫されている。また、確認問題に合わせて補充問題が二次元コードから読み取れる。多様な問題が用意されており、それらを活用して生徒が自ら学習を進める工夫がされており、例題すべてに音声解説がある。さらに、二次元コンテンツが非常に豊富で、図を操作させたり、豊富なデータを容易に用いたり、様々な授業展開が期待できる。

(西谷委員)

「数研出版」を推薦する。全体的に見やすくわかりやすい。補充や発展等が色分けしてあり、生徒も取り組みやすく、予習・復習もしやすいと考える。数学的な見方や考え方を問うような課題解決型の構成で、学びあいを促す対話形式の展開がある。自然に関する問題やSDGsに関する問題など、他の教科と関連付けながら学習を進めることができる。

(教育長)

「理科」について、意見を求める。

(小川委員)

「啓林館」が良い。「学ぶ前にトライ」では、学習前後の自らの考えを比較する機会を設定している。理科の実験では安全性が問われるが、硫化水素の発生については実験が設定されておらず、安全性を優先した内容になっている。環境へ配慮するという点では、3年生化学では、塩酸の電気分解の実験のみを扱い塩化銅の実験は解説動画のみとなっており、重金属を扱う廃液処理を意識し環境への配慮がなされている。

(稗田委員)

「啓林館」を推薦したい。教師の指導経験に左右されずに指導しやすい、生徒は学ぶ意義を実感しやすいと感じた。単元はじめに「はてなスイッチ」という二次元コードがあり、一つの現象について自分の考えをあらかじめ持って授業に臨める工夫がある。「学ぶ前にトライ」では、学習前後の自らの考えを比較する機会を設定している。学習の前段階で自分の認識を確認し、学習後にそれがどのように変わったか、どのように深まったかを振り返ることができる。生徒が学ぶ意義を実感しやすい構成となっていると感じた。

(教育長)

「音楽（一般）」について、意見を求める。

(西谷委員)

「教育芸術社」が良いと考える。道徳教育や人権教育の観点から楽曲が選曲されており、心の触れあいの大切さなどが感じられるよう配慮されていると感じた。二次元コードによる補足説明や音源が多く取り入れられ、さらに深い理解へとつなげることができる。また、演奏と楽譜がリンクしており、楽譜を読むことが苦手な生徒にも視覚と聴覚両方から知覚できるようになっている。

(稗田委員)

「教育芸術社」を推薦する。学習目標が大きく示されており、活動や付けたい力がページを開けばわかる構成。3つの資質、能力の内容と教材が、関連度と共にわかりやすく掲載されており、生徒が見通しを持って学べるということはもちろん、指導者も計画的な授業を組み立てやすいと感じた。また、「音楽を形づくっている要素」、「音楽の学びを振り返ろう」のページにより、1年間の学習を振り返ることができる工夫がある。小学校から系統性が示してあり、どんな学びが繋がっているのかがわかりやすく、小中9年間の系統性と一貫性を重視した学習内容になっていると感じた。

(教育長)

「音楽（器楽合奏）」について、意見を求める。

(西谷委員)

「教育芸術社」が良いと考える。伴奏の二次元コードにより生徒が個人でも楽しんで練習ができ、指導者にとっても全体の様子を把握しながら指導ができる。また、楽器の奏法や演奏場面の動画が豊富に示されており、視覚的に理解が深められるように工夫されていると感じた。「バンドの世界をのぞいてみよう」や「伝統音楽の枠を超えて活躍する和楽器」を掲載し、生徒の興味・関心・意欲を多様なジャンルを通じて高める工夫がある。

(稗田委員)

音楽（一般）と同様に「教育芸術社」が良いと考える。楽器の奏法などについて適切な文章とイラスト、写真を用いて解説されており、楽器の基礎的な技能の習得に配慮されている。「学びのコンパス」や「Q&A」、各所のコラムでは、小学校で身に付けてきたことや基礎的な学習内容を確認しながら繰り返し学習できるよう工夫されている。音楽（一般）の教科書と同じように、キャラクターの吹き出しにより、知覚、感受したことをもとに「思考・判断・表現」を行うためのヒントが示されており、思考力、表現力を深める工夫がされている。

(教育長)

「美術」について、意見を求める。

(稗田委員)

「開隆堂」を推薦する。教科の特性から 50 分間教科書をみて学ぶということではなく、美術をいかに楽しんだり、ひとりひとりもっと身近なところに美術があるということに気づき豊かな発想をしたりするために、発想・意欲を高めたいときに見る大切なツールとして美術の教科書を考えるとき、「開隆堂」の教科書が魅力的と感じた。ページの構成が見開きや原寸大図版によるダイナミックな展開であり、見せ方が新しく生徒が美術に出会うことが楽しくなるよう工夫されている。教科書の内容を教えるということだけでなく、教科書に教師の工夫を加えた個性ある授業展開が可能なのではないかと感じた。

(小川委員)

「開隆堂」が良いと感じた。前回少し減ったと指摘されていたルネサンスや印象派の作品も多く含まれているが、新しい多種にわたるアートについて多く取り上げられ、より身近で、生徒たちの興味関心を引き深められるようなつながりとなっている。例えば、ラグビーの日本代表のユニフォームから日本古来の模様についての説明がされているところなど工夫がある。

(教育長)

「保健体育」について、意見を求める。

(小川委員)

「大修館書店」が良いと考える。様々な現代的課題が特集資料に盛り込まれており、学びを生活や社会につなげられるよう構成されている。各單元には二次元コードが配置され、デジタル教材と連動させることで、ICT機器の利活用を図っている。さらに、「Web 保体情報館」では学習と関連したサイトが紹介され、学びを深められるよう工夫されている。

(内藤委員)

「大修館書店」を推薦する。紙面の配置がワークで区切ってあり、統一したレイアウトでとても見やすい。紙面で学習のまとめができるつくりになっており、教師の負担軽減になっているのではないかと考える。

(教育長)

「技術家庭（技術）」について、意見を求める。

(小川委員)

「東京書籍」を薦める。問題解決に取り組むための必要な基礎的な知識や技能をテックラボでシンプルにまとめ、そのポイントの理解を深めるための写真や説明が豊富である。また、各章では、「考えてみよう」、「調べてみよう」、「やってみよう」、「話し合ってみよう」に分けて活動マークがあり、思考を促す工夫がある。

(内藤委員)

「東京書籍」を推薦する。ガイダンスが丁寧で、問題発見、課題設定、設計計画、制作育成、成果の評価、改善修正、新たな課題発見という手順が、統一的に示されている。丁寧さが良い。

(教育長)

「技術家庭（家庭）」について、意見を求める。

(西谷委員)

「東京書籍」を薦める。各ページに二次元コードがあり、デジタルコンテンツが充実している。教科の定義に密着した、「安全」、「衛生」、「マナー」、「環境」、「消費者」など12種類のマークがあり、学んでいる際に何を学んでいるか視覚的にもわかりやすい。また、自分の生活チェックがあり、今の自分と学習後の自分が何をどれだけ学習したかわかりやすい。小学校から中学校へつながっていることもわかりやすく、小学校からの学習を引き継ぎ、高校へのスムーズなつながりを促すような工夫がされており、学習の系統がしっかりしていると感じた。

(稗田委員)

「東京書籍」が良い。各節は「目標」「レッツスタート」「学習課題」「本文・図版」「活動」「まとめの活動」の流れで統一されており、生徒は学習を進めていきやすく、指導者

は授業を組み立てやすいと感じた。また、問題解決能力を高めるため、「考えてみよう」、「やってみよう」、「調べてみよう」の活動の中でデジタルコンテンツの思考ツールが随所に取り入れられている。より主体的に調べたり、友だちと協働して比較・検討したりできる工夫がされていると感じた。

(教育長)

「英語」について、意見を求める。

(西谷委員)

「光村図書」を推薦したい。巻末に CAN-DO List が掲載されており、見通しを持って学習を進めることができることや、過去分詞はすべて3年生から学習できるなど、生徒にとって習得が大変な文法事項が分散しており、複雑だったり学びの理解に時間がかかったりすることが分散されることで余裕を持って学習ができる。他にも全国学力・学習調査などを参考にしたスピーキングテストにトライできる二次元コンテンツも付いている。「Let's Talk」を活用することで、言語活動につなげられる練習活動を、帯活動として行うことができる

(小川委員)

「光村図書」が良い。生徒にとって習得が大変な文法事項が分散され、余裕をもって学習することができる。また、全国学力・学習状況調査を参考にした二次元コンテンツがある。

(教育長)

「道徳」について、意見を求める。

(内藤委員)

「光村図書」の教科書が非常によいと感じた。テキストの中に、多様な考え方が生まれる活動、活動を多面的・多角的に広く考える仕組みが非常に多い。漫画や挿し絵を使いテーマを理解しやすく、考えやすくしている。問題を見つけ、考えを深め、生活に活かすという学習の流れが統一されており生徒にわかりやすいと感じる。

(稗田委員)

「光村図書」を薦めたい。道徳の教科書として大切なポイントが何かと考えたとき、子どもが思考できているか、指導者が内容項目をきちんと押さえて指導できるか、資料が多面的であるか、このような点が大切だと考える。資料の内容が多種多様であって、イラストや写真が非常に豊富であること、また、各学年ともに「いじめ」「情報モラル」「人権問題」などを多様な教材が扱ってある。さらに、付録で差し替え可能な教材がいくつかあり、生徒の実態や各校の重点目標に沿って入れ替えができ、より深い学びにつなげられると感じた。

(教育長)

第 11 号議案を会議に諮り、全員異議なく承認。

教育長より、令和 6 年 8 月 9 日提出の第 12 号議案「幼保連携型認定こども園に係る意見について」は、舞鶴市議会令和 6 年 9 月定例会に提出を予定している議案に係る案件であり、市議会提案前であるため、舞鶴市教育委員会会議規則第 10 条により非公開とする旨の提案があり、全会一致で決定する。

(以下、非公開)

(教育長)

第 12 号議案、令和 6 年 8 月 9 日提出の「幼保連携型認定こども園に係る意見について」、事務局から説明をお願いします。

(森こどもまんなか室長兼乳幼児教育推進課長)

幼保連携型認定こども園の設置にあたり、舞鶴市が設置する幼保連携型認定こども園に係る教育委員会の意見聴取に関する規則の規定により、意見を求めるもの。

[質問・意見]

(稗田委員)

保育所の認定こども園移行への目的をお聞きし、保護者の就労等家庭の状況に関わらず集団で幼児教育・保育を提供することが可能であり移行について賛同する。移行後、定員が 150 人であり、3号認定の定員が75名から63名に減っているが、待機児童が出るようなことはないのか。

(森こどもまんなか室長兼乳幼児教育推進課長)

うみべのもり保育所の 8 月 1 日時点の入所人数は119人であり、今の定員にも若干余裕がある。民間の認定こども園もあり、人口も減っていくことも踏まえ算定しており、待機児童は出ないものと考えている。

(教育長)

第 12 号議案を会議に諮り、全員異議無く承認。

3 その他

なし

4 閉会

教育長 閉会を宣告